

博志君、おめでとう

中村和子

学校2年生の頃でしょうか？恥ずかしそうにお母さんのスカートの後ろに隠れながら第4小学校の体育館で白山ジュニアの卓球を見ていた少年、それが博志君との最初の出会いだったと思います。

そんな博志君が800人以上のエントリーがあった全日本卓球選手権大会のジュニアの部の千葉県予選を勝ち抜き日本で一番権威のある全日本卓球選手権大会に出場することになりました。おめでとう！よく頑張りましたね。

基本をしっかり、何度も何度も納得がいくまで、自分の形にするまで、繰り返し練習し、これでもか、これでもかというほど多球練習を希望し、一步一步強くなりましたね。大会に出るにあたって、その目標や試合に臨む姿勢を言葉に表し、大会後は反省とともに次に何をなすべきか新たな目標の設定を卓球日誌に記入し、コーチに見せてくれましたね。そして、そこにはいつもお母さんのきれいな字で書かれたやさしいまなざしの励ましの言葉がありましたね。その卓球ノートは何冊になったのでしょうか？今も続けているのでしょうか？

目標を立て、一步一步日々の練習を行い、しっかり前を向き夢を具現化していく姿は白山ジュニアの目標とする姿です。こんな素晴らしいお手本を残してくれてありがとう！第2、第3の博志君が現れて、白山ジュニアの伝統として目標をもって一日一日を大切にする姿が続いていってくれるようコーチも頑張っていきます。ありがとう、博志君、そして本戦での悔いのない戦いを祈っています。